

[平成19年度設置]

計画の区分：学科の設置

久留米工業大学工学部教育創造工学科

設置に係る設置計画履行状況報告書（抜粋）

学校法人久留米工業大学
平成21年5月1日現在

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 久留米工業大学

(2) 大学名

久留米工業大学

(3) 大学の位置

〒830-0052
福岡県久留米市上津町2228-66

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(キタムラ サダオ) 喜多村 禎勇 (平成11年5月)	(イシカワ ナルミツ) 石川 集充 (平成21年5月)	平成21年5月26日付理事長就任のため(21)
学長	(ネモト ミノル) 根本 實 (平成16年4月)	(オザキ タツオ) 尾崎 龍夫 (平成21年1月)	平成21年1月付学長就任のため(20)
学科長等		(シブタニ ノリマサ) 渋谷 憲政 (平成19年4月)	平成19年4月付学科の開設にあわせて学科長を選任したため

- (注) 1. 『(3) 大学の位置』は、届出学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
2. 『(4) 管理運営組織』の「変更状況」欄は、変更があった場合のみ記入し、併せて「備考」欄に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成21年度に報告する内容 → (21)

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 2 様式は, 平成19年度開設の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 教育創造学科 学士(工学)	4年	30人	— 年次人	120人	

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

今年度は平成22年度欄の記入は不要です。

区分	対象年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員超過率	備考
A	入学定員	() 30人	() 30人	() 30人	() 人	0.54倍	編入者1名は、3年次定員外編入
	志願者数	() 30	() 34	() 40	()		
	受験者数	() 30	() 34	() 40	()		
	合格者数	() 30	() 32	() 38	()		
B	入学者数	() 16	() 14	() 19	()		
	入学定員超過率 B/A	() 0.53	() 0.47	() 0.63	()		

- (注) 1 ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を備考欄に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

今年度は平成22年度欄の記入は不要です。

学年	対象年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
1年次		[] 16	[] 14	[] 19	[]	
2年次		[]	[] 16	[] 14	[]	
3年次		[]	[]	[] 17	[]	
4年次		[]	[]	[]	[]	
計		[] 16	[] 30	[] 50	[]	

- (注) 1 []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 [-] 0人	(累積)計 [-] 16人	[-] 0%
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 16人	
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 [-] 0人	(累積)計 [-] 30人	[-] 0%
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 16人	
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 14人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 [-] 0人	(累積)計 [-] 50人	[-] 0%
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 16人	
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 14人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 20人	
(主な退学理由)			
平成22年度	計 []	(累積)計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	平成19年度 人	
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
(主な退学理由)			

(注)1 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数の割合」欄は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な退学理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
- ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学部 教育創造工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	文章表現の技術	1		2				1			
	経済学入門	2・3・4		2				1			
	技術の倫理	2・3・4		2				1			
	異文化コミュニケーション	2・3・4		2				1			
	論理学入門	2・3・4		2				1			
	情報・メディア・文化	2・3・4		2				1			
	現代の経済と経営	2・3・4		2					1		
	経営学入門	2・3・4		2					1		
	生活と社会	2・3・4		2					1		
	日本国憲法	2・3・4	2								
	バーチャリングリッシュ	1前	1						1		
	英語コミュニケーションスキル	2前	2					1			
	オーラル科学技術英語	1後		1					1		
	科学技術英語	2前		2				1			
	オーラルイングリッシュ	1後	1						1		
	中級オーラルイングリッシュ	2後		2					1		
	上級オーラルイングリッシュ	3・4		2							
	上級英語	3・4		2				1			
	ドイツ語	2前		2				1			
	中国語	3・4		2							
	生涯スポーツⅠ	1前	1			1					
	生涯スポーツⅡ	1後	1			1					
	健康科学	2後		2		1					
	自主活動Ⅰ	1・2・3・4		2							
	自主活動Ⅱ	1・2・3・4		1							
	インターシップⅠ	1・2・3・4		2							
	インターシップⅡ	1・2・3・4		1							
	学外教育	1・2・3・4		2							
小計(28科目)	—	—	8	41	0	3	8	9	0	0	
学科共通専門科目	フレッシュマンセミナー	1前	2			4		3			
	工学基礎セミナー	1前	2			4		3			
	エクステンションセミナーⅠ	2後		2		4		3			
	エクステンションセミナーⅡ	3前		2		4		3			
	基礎数学Ⅰ	1前	2			1					
	基礎数学Ⅱ	1後		2		1					
	基礎数学演習Ⅰ	1前		2		1					
	基礎数学演習Ⅱ	1後		2				1			
	代数学Ⅰ	2前	2			1					
	代数学Ⅱ	2後		2		1					
	基礎解析学Ⅰ	2前	2			1					
	基礎解析学Ⅱ	2後		2		1					
	基礎物理学	1前	2			1					
	一般物理学	1後		2		1					
	基礎物理学実験	2前		2				2			
	応用物理学	2後		2		1					
	基礎化学	1前		2		1					
	物質と化学	2前		2				1			
	水環境学	2後		2		1					
	生物学の基礎	1前		2							
	バイオサイエンス	1後		2							
	バイオテクノロジー	2前		2							
小計(22科目)	—	—	12	32	0	28	0	16	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科共通専門通科目	コンピュータリテラシー	1前	2					1				多様な進路に対応するため、平成20年度から選択科目へ変更
	コンピュータの基礎	1前		2		1						
	ソフトウェアの基礎	1後		2				1				
	プログラミングの基礎	2前		2		1						
	情報処理演習	2後		2		1						
	コンピュータと社会	3前		2		1						
	資格取得実践講座	3後		2		1						
	職業指導Ⅰ	3前		2		1						
	職業指導Ⅱ	3後		2		1						
	教育本質論	1前	2			1						
	教育課程と特別活動の研究	2前	2			1						
	教師論	2後	2			1						
	教育心理学	2後	2				1					
	教育行政学	2後	2			1						
	生徒指導と進路指導の研究	2後	2			1						
	教育方法論	3前	2			1						
	教育相談とカウンセリングの研究	3前	2			1						
	総合的課題の教職演習	3後	2			1						
	教育実習Ⅰ	3前	2	2		1						
	教育実習Ⅱ	4前	2	2		1						
	教育実習Ⅲ	4前		2		1						
	道徳教育の研究	1後		2		1						
	介護等体験	3前		2		1						
小計(23科目)		—	24	26	0	20	1	2	0	0		
専攻科目	無機化学	1後		2								
	有機化学	2前		2		1						
	分析化学	2前		2				1				
	環境化学	3前		2		1						
	物理化学	2後		2				1				
	基礎化学実験	2後		2		1		1	1			
	環境生態学	2前		2								
	分子生物学	2後		2								
	発生生物学	3前		2								
	細胞生物学	3後		2								
	微生物学	4前		2								
	生物学実験	1後		2								
	地学の基礎	3前		2								
	地学実験	3後		2		1	1					
	幾何学Ⅰ	2後		2		1						
	幾何学Ⅱ	3前		2		1						
	応用数学Ⅰ	3後		2				1				
	応用数学Ⅱ	4前		2				1				
	図学	2後		2			1					
	解析学Ⅰ	3前		2				1				
	解析学Ⅱ	3後		2				1				
	解析学Ⅲ	4前		2				1				
	数値解析Ⅰ	3前		2			1					
	数値解析Ⅱ	3後		2			1					
	確率統計学Ⅰ	3後		2				1				
小計(25科目)		—	0	50	0	6	4	9	1	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専攻科目	確率統計学Ⅱ	4前		2				1			
	コンピュータ	1後		2		1					
	プログラミング入門	2前		4				1			
	デジタル回路	2後		2		1					
	環境計測	2前		2		1					
	環境計測演習	2後		2		1			1		
	計測システム	3後		2			1				
	情報機器	1前		2				1			
	情報ネットワーク	1後		2		1					
	ネットワークの基礎	2前		2		1					
	コミュニケーション技術演習	2後		2		1					
	セキュリティ技術	3前		2				1			
	デジタルデザイン演習	3前		2		1					
	画像処理演習	3前		4				1			
	情報と職業	3前		2		1					
	理科教育法Ⅰ	3前		2							
	理科教育法Ⅱ	3後		2							
	理科教育法Ⅲ	4前		2							
	理科教育法Ⅳ	4後		2							
	数学科教育法Ⅰ	3前		2		1					
	数学科教育法Ⅱ	3後		2		1					
	数学科教育法Ⅲ	4前		2		1					
	数学科教育法Ⅳ	4後		2		1					
	情報科教育法Ⅰ	3前		2		1					
	情報科教育法Ⅱ	3後		2		1					
	卒業研究Ⅰ	4前	3			4		3			
	卒業研究Ⅱ	4後	3			4		3			
小計（27科目）		—	6	54	0	23	1	11	1	0	
専攻連携科目	機械工作法	1前		2			1				
	基礎製図	1後		1			1				
	CAD演習	3前		2			1				
	機械加工演習Ⅰ	1前		2		1	1				
	機械加工演習Ⅱ	1後		2		1	1				
	都市計画	3前		2		1					
	情報システム設計	2後		2		1					
	メディアネットワーク演習Ⅰ	3前		2		1		1			
	マルチメディア技術	3後		2		1					
	ゲーム作成技術	3後		2		1					
	地球環境論	1後		2		1					
	環境材料科学	2前		2		1					
	機能性物質概論	3前		2		1					
	環境機器分析	3後		2		1		1			
	環境機器分析実習	3後		2		1		1			
	小計（15科目）		—	0	29	0	12	5	3	0	0
合計（140科目）		—	50	232	0	92	19	50	2	0	

(2) 授業科目数

(届出)

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
26科目	114科目	0科目	140科目	24科目 [Δ2]	116科目 [2]	0科目 [-]	140科目 [-]	

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	70.711㎡	0㎡	0㎡	70.711㎡			
	運動場用地	34.373㎡	0㎡	0㎡	34.373㎡			
	小 計	105.084㎡	0㎡	0㎡	105.084㎡			
	そ の 他	8.014㎡	0㎡	0㎡	8.014㎡			
	合 計	113.098㎡	0㎡	0㎡	113.098㎡			
(2) 校 舎	専 用	27.398㎡	0㎡	0㎡	27.398㎡			
	(27.398㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(27.398㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	室	室	室	(補助職員 人)	(補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
				室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
		〇〇学部	()	()	()	()	()	()
		計	()	()	()	()	()	()
			()	()	()	()	()	()
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	㎡							
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	㎡							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	388千円	329千円	図書購入費	200千円	200千円	1,000千円
	共同研究費等	—千円	—千円	設備購入費	44,774千円	2,850千円	—千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,410千円	1,190千円	1,190千円	1,190千円	—千円	—千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等					

(注) 1 届出時の計画を設置届出書の様式第2号(その1)に準じて作成してください。

2 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を備考欄に記入してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	久留米工業大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入 学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
機械システム工学科	4	45	3年次 5	190	学士（工学）	0.74	昭和51年	福岡県久留米市上津 町2228-66	
交通機械工学科	4	90	3年次 5	370	学士（工学）	1.04	昭和51年		
建築・設備工学科	4	65	3年次 5	270	学士（工学）	0.56	昭和51年		
情報ネットワーク工学科	4	80	3年次 5	330	学士（工学）	0.53	昭和60年		
環境共生工学科	4	30	—	120	学士（工学）	0.47	平成14年		

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、すでに設置している大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、状況を記入してください。

（大学院及び短期大学の専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

2 設置届出書の様式第2号（その1）に準じて作成してください。

3 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）の記載は不要です。

4 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(大学の所見) 届出時の計画から変更状況については、平成19年4月からのため影響は出ていないと思われる。
(周知方法) シラバス、時間割、履修時のオリエンテーション

- (注) 1 「(1) 担当教員表」は、設置届出書の様式第3号(その1)に準じて作成してください。
なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈表題〉を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- 2 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - 3 辞任者は「備考」欄に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - 4 年齢は、就任年度に関わりなく、「届出時の計画」欄には、開設時現在の満年齢を、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - 5 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は「後任未定」及び今後の採用計画を「備考」欄に記入してください。
 - 6 「(2) 教員数」の「届出時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在(就任年月に達していない者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。
(記入例: 1名減の場合: △1)
 - 7 「(3) 専任教員辞任等の理由」欄には、届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 - 8 「(4) 専任教員交代に係る大学の所見」欄には、専任教員交代に係る学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 その他全般的事項

<工学部 教育創造工学科>

(1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
/	

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <ul style="list-style-type: none">a 委員会の設置状況 (久留米工業大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程を添付) ファカルティ・ディベロップメント委員会b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) 月1回開催。(各学科および各専攻から選出された者、各1名。)c 委員会の審議事項等 添付の委員会規程第5条 <p>② 実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施内容 授業評価アンケートb 実施方法 教員(1科目)毎に実施c 開催状況 (教員の参加状況含む) 全教員d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 評価結果を担当教員へフィードバックし、自ら授業改善を行う。
--

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙のとおり

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成21年3月27日 公表

b 公表方法

・久留米工業大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・平成20年度に日本高等教育評価機構による第三者評価を受審し、平成21年3月24日付「認可」の判定を受けた。認可の有効期間は、平成20年4月1日から平成27年3月31日までの7年間である。

(4) 情報提供に関する事項

① 設置届出書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成 21 年 11 月 1日) 公表予定なし
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置届出書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.kurume-it.ac.jp/>)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (平成 21 年 11 月 1日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.kurume-it.ac.jp/>)

- (注) 1 項目は、1～5の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- 2 「(1) 設置計画変更事項等」の記入事項は、原則として、設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- 3 「(3) 自己点検・評価等に関する事項」については、届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- 4 「(4) 情報提供に関する事項」の「①」について、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合、公表後の取扱いについて記入してください。
また、「①」又は「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「②」について、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secci@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

(別紙) 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括・所見

本学科は、工学の基礎知識の上に、理科、数学、情報の専門分野に応じて実験・実習に重点を置いた教育を行い、理数科の教育に関して興味や面白さが伝えられる実践力のある教員を育成することを目的としている。その趣旨が活かされるようにカリキュラムが編成され、教育支援がなされている。

教育課程編成

カリキュラムは「理科コース」、「数学コース」、「情報コース」の3つのコースを柱として編成されている。それぞれのコースで、中学・高校の理科教諭一種免許、中学・高校の数学教諭一種免許、高校の情報教諭一種免許が取得できる。在学生の多くが数学と情報、理科と情報など複数コースを受講している。1年次の生物学実験（選択科目）は全員が受講している。2年次の基礎化学実験や基礎物理学実験など学生が実験・実習に接する機会が多い。また、3年次では自主的に実験を始めている学生もいる。フレッシュマンセミナー、工学基礎セミナー、エクステンションセミナーI,IIなどのセミナーは全教員が担当し、少人数教育を実施している。工学の基礎となる実験や「ものづくり」もこのセミナーで行っている。

教員組織

設置届出書 10 教員名簿（教員の氏名等）では記載されていないが、平成19年4月から教授（岩切稔）を1名採用した。その間、専任教授5名体制で教育を行ってきたが、平成21年1月に岩切教授が健康を害し、平成21年3月末に辞職した。平成21年度は非常勤講師でその教授の担当科目を補い、平成22年度、理科教員を新規採用予定である。准教授1名は平成19年3月、組織の見直しにより担当者の変更を行った。

教育方法・履修指導

教員養成の学科として、本学科は学生を学校現場に連れて行く機会を多く設けている。事前指導を十分行い、授業参観という形で各学校に行き、その後レポートを作成する。平成19年度は小学校に1回、平成20年度は中学校に3回、高等学校に1回行った。また、野外活動も実施している。平成19年度は水質調査、土壌生物の調査、平成20年度は水生生物調査、土壌生物の調査を行った。このように本学科は座学だけではなく、学外活動、野外活動、ものづくりなどを積極的に企画し、実施している。学生の出席状況はVNCシステムによって本学科の全教員が把握している。本学はクラス担任制度を採用しており、出席のよくない学生に対してはクラス担任が保護者、学生と連絡を取り、きめ細かい指導をしている。現在までの本学科の退学者数は0名である。

施設・設備の整備

平成19年4月、1号館3階に「生物実験室」と「地学実験室」を新設した。「化学実験室」も1号館3階に移動し、リニューアルした。「物理実験室」は既存のものを使用してい

る。必要な機器・備品も購入した。セミナー室も3部屋新設し、少人数教育に利用している。平成21年9月には「教育教材開発室」を新設し、コンピュータ、物理実験機器を導入する予定である。

入学者選抜

入学者は定員30名に対して、平成19年度16名、平成20年度14名、平成21年度19名である。いずれも定員を満たしていないが、平成21年度は増加傾向にある。志願者数も平成19年度30名、平成20年度34名、平成21年度40名であり、増加傾向にある。しかしながら、入学者の確保は今後の重要な課題である。

ファカルティ・ディベロップメント (FD)

学科独自のFDとして、平成20年10月、高等学校校長経験者の話を聞く研修会を開催した。研修会では学校現場における諸問題についての議論、討論がなされた。本学科の全教員が参加している。

久留米工業大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、久留米工業大学学則第10条の2及び久留米工業大学大学院学則第13条の2に基づき、久留米工業大学ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という）委員会の組織及び運営に必要な事項を定めるものである。

(目的)

第2条 FD委員会は、工学部、大学院専攻科の教育の質的向上に向けた教育支援施策の企画・開発及びFDの推進と支援を行うことを目的とする。

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 教務委員長
- (2) 各学科より1名
- (3) 各専攻より1名
- (4) 上記(2)(3)の委員は、学長が指名する
(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、教務委員長をもって充てる。

2 委員長は委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が氏名した委員がその職務を代行する。

(審議事項)

第5条 委員会は、以下の事項を審議する。

- (1) 研修その他施策の企画・実施に関すること
- (2) 教育の質的向上に向けた諸施策の企画・立案及び関連する情報の収集に関すること
- (3) 学生による授業評価アンケートの企画・実施、アンケート結果の集計・分析・評価及びこれらについての各教員の取り組みへの支援に関すること
- (4) 授業公開についての企画・立案・支援に関すること
- (5) 授業に関する学生の苦情、対策及び解決に向けての取り組みに関すること
- (6) その他FDに関連する事項に関すること

(委員以外の者の出席)

第6条 委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対して出席を求め、その意見又は説明を聞くことができる。

(任期)

第7条 委員の任期は2年とする。ただし、任期の途中で委員の交代があった場合の新任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(事務)

第8条 この委員会の事務は、教務課において行う。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。